

環境水道委員会資料
平成29年8月10日
上下水道局

第三セクターの経営情報について

株式会社北九州ウォーターサービス
(平成28年度)

1 会社概要

(1) 主な事業内容

- ① 市内の上下水道事業（浄水場の運転監視や浄化センターの中央操作など）
- ② 水道事業の広域化事業（宗像地区事務組合の水道事業を一部受託）
- ③ 上下水道の海外水ビジネス事業（国際技術協力や水ビジネス）

(2) 株式の状況

- ①資本金額： 100,000千円
- ②発行済株式総数： 10,000株
- ③株主数： 7名
- ④本市の出資額： 54,000千円（出資比率：54%）

(3) 従業員数 238人（平成29年4月1日現在）

2 平成28年度事業報告

平成27年12月の設立から2期目となる平成28年度は、一般財団法人北九州上下水道協会（以下「協会」という。）から引き継いだ事業を着実に履行するとともに、新たに市が受託した宗像地区事務組合の水道事業の一部を受託するなど、本格的に株式会社としての運営を始めた重要な年度として、次の事務事業を実施した。

(1) 受託事業

ア 水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等業務

(ア) 水道に係る受託業務

- ・ 給水装置工事審査・検査補助等業務
- ・ 井手浦浄水場運転監視等業務（道原浄水場の整備業務を含む）
- ・ 排水処理施設運転整備等業務

(イ) 下水道・河川に係る受託業務

- ・ 浄化センター中央操作等業務（水質検査補助業務を含む）
- ・ 新町・北湊浄化センター等運転整備等業務（浄化センターでの薬品選定等業務を含む）
- ・ 排水設備工事審査補助等業務
- ・ 竹馬川・貫川防潮水門監視業務

イ 広域連携に係る受託業務（宗像地区水道施設維持管理等業務）

ウ 北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務

(2) 自主事業

ア 海外事業

(ア) 海外水ビジネス事業

- ・ カンボジア国プノンペン都下水・排水改善プロジェクト
- ・ JICA 中小企業海外展開支援事業「上向流式生物接触ろ過を活用した浄水処理の普及・実証事業」における水質分析関連業務
- ・ JICA ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画詳細設計
- ・ ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係るコンサルティング業務

(イ) 国際協力事業

- ・ 平成 28 年度「水環境行政」コース研修実施
- ・ 平成 28 年度第 3 回「下水道システム維持管理(B)」コース研修実施

(ウ) その他（協会からの事業引継に関連する業務）

- ・ カンボジア国・民営水道セクターに適した省エネシステムの実証実験における業務

イ 水道・下水道事業に係る公有地活用事業

ウ 福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務ほか

3 平成 28 年度財務状況

| | |
|-------|--------------|
| 売上高 | 1,697,254 千円 |
| 当期純利益 | 53,302 千円 |

4 決算要旨

損益計算書

〔自 平成 28 年 4 月 1 日〕
〔至 平成 29 年 3 月 31 日〕

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 |
|--------------|-----------|
| 売上高 | 1,697,254 |
| 売上原価 | 1,480,338 |
| 売上総利益 | 216,916 |
| 販売費及び一般管理費 | 147,590 |
| 営業利益 | 69,326 |
| 営業外収益 | 18,908 |
| 営業外費用 | 0 |
| 経常利益 | 88,234 |
| 税引前当期純利益 | 88,234 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 34,932 |
| 当期純利益 | 53,302 |

貸借対照表

〔平成 29 年 3 月 31 日現在〕

(単位：千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|---------|---------|----------|---------|
| 流動資産 | 390,721 | 流動負債 | 290,243 |
| 固定資産 | 63,386 | 固定負債 | 20,290 |
| 有形固定資産 | 34,254 | 負債合計 | 310,533 |
| 無形固定資産 | 9,519 | 純資産の部 | |
| 投資その他資産 | 19,613 | 株主資本 | 143,574 |
| | | 資本金 | 100,000 |
| | | 利益剰余金 | 43,574 |
| | | 純資産合計 | 143,574 |
| 資産合計 | 454,107 | 負債・純資産合計 | 454,107 |